



Friendship

No. 38

フレンドシップ・フォース愛媛



第39回受入れ オックスフォードシャー(イギリス) 5月20日~27日

若々しいFF愛媛に
会長 峯 洋子

三月一日のワールドFFデイ開催の労が報われ、五月の受入れの前後に数名の入会がありました。このような現象は久しぶり。会が発足して二十二年。二十四クラブの中でも古い方に入る為会員も次第にベテランが多くなり、介護問題のみならず、会員自身の体調不良などでホストファミリー不足、渡航希望者の減少、会長や渡航のEDのなり手が無いなど、愛媛クラブの問題は山積しています。このような中、若い会員が増加したので、この変化がこれらの問題の解決の糸口になるのではと、密かに期待しています。この際私達の頭も若返らないと、この新しい変化についていけなくなるかもしれない。会員の皆さまの協力で魅力ある愛媛クラブに致しましょう。

オックスフォードシャー(イギリス)受入れを終えて

ED 田中 喜美子

二〇〇六年に渡航したクラブを受け入れることになりました。向こうのEDフランスは旅行社を通さず、少しでも安くという気持が伝わってきました。広島にも行くか行かないかで、度々メールのやり取りをしました。でも広島でもとても感動的な場面に出合いました。

平和記念資料館の中で、ゲストの一人のHさんが眼に涙を溜めて、「私は謝ります。広島に原爆を落としたのは早く戦争を終わらせるために必要だったと、私たちは教えられてきました。だから仕方のなかったことだと思っていました。でもここに来て、日本の庶民には何の罪もないということに気づきました。私は謝ります。」と繰り返されて私に握手を求めたのです。私も涙が出ました。Hさんのホストが「貞子」の英訳を彼女に手渡していたこともあったでしょう。私はFFの活動の素晴らしさを再認識した思いがしました。

**スケジュール**

- 20日 到着
夜ウェルカムパーティ(担当矢野和子)
- 21日 二の丸でお茶会(担当中村緒由美)
- 22日 宮島・広島一日ツアー
(担当 久保玲子)
- 23日 フリーデー
- 24日 石鎚・瓶が森一日ツアー
(担当 佐藤学)
- 25日 オプション 松山城見学
夜 フェアウェルパーティ
(担当 有光佳代・鈴木節子)
- 26日 フリーデー
- 27日 三重へ出発

「フランス滞在」**犬伏ちずる**

共に過ごした短い日々でしたが、彼女の過ごしてきた人生のひとこまを見たような気がすることもありました。人をまとめたりすることが好きと言い、「conservative」支持と胸を張り、政治的な話題になると身を乗り出し、目を輝かせていました。それとは対象的に、家に残してきた愛犬の話になると、気弱でやさしげな表情になるのです。社会的な活動を語るしっかりした姿と、近所の犬の泣き声を心配し、あれを失くした、捜してほしいとオロオロとする姿の二面を見せてくれました。「個人個人を知れば、人間どこの国の人と同じね」と、お互いうづきあい、サヨナラを言いました。

**「Which would you like tea or coffee?」****村上 啓子**

Susan answered "Green tea, please." Brenda said, "I have Green tea every morning"張り切って紅茶の準備をしていたのに、ふたりは日本通だった。新宮の製茶場を見学し、プロから絶品の新茶を入れて頂いたその日は3度もティーセレモニーで正座をした。新居浜では早朝に坐禅をした。導師が立派に 跏趺坐(ふざ)



ができますねと褒めると、Brendaは何のこれしきと高い鼻を高くしていた。家老屋敷跡の茶室への廊下はSusanにはちょっと狭すぎたかも。手漉き和紙体験では、時間の経つのを忘れてモミジの押し葉を漉き込んでいた。孫達ともシャボン玉で遊び楽しい交流ができた。「チーユーアゲイン」(3歳の孫より)

「話好きで愛媛を気に入った二人のゲスト」**中西 皓・フサエ**

AngelaとNormaは各60台半ば、考え方や好みが似通っていて、食事中も外出先でも二人が揃って話し続けLovely!を連発してくれた。

米飯、うどん、味噌汁は勿論、生卵付きすき焼、魚の煮付け、和菓子、日本茶など全てLovely!

公式行事の全て、佐藤さん・大谷さん宅でのホームパーティ、井出さんの松山城・大街道散策のデイホスト、しまなみ海道大山祇神社・バラ公園、奥道後さつき展とジャングル温泉入湯もLovely!

Angela cried when we left you at the airportとNormaからEmailが届いた。

**「日本式生活は筋力が必要?」 川端満子**

我が家には73才のイギリス人女性ローズマリーが滞在しました。思いがけず足元が悪い人で、布団での寝起きや玄関での履物の着脱にさえ大変苦労していました。ことに道後温泉ではあの低いイスに腰掛けたり湯船に浸かったりするのが難しく、居合わせた女性と二人掛かりで介助しました。しかし彼女は母国ではあまり不便を感じずに日常生活を送っているのではないかと思います。彼女にとっては、まさに究極の異文化体験となったことでしょう。デイホストや車での送迎に今井さん、久保さんに大変お世話になりました。



「あっという間の一週間」

佐藤学・洋子



エキゾチックな旅が好きとメールを送ってきたジェイン。英国とは様子の違う山や海、住居や庭木、花や鳥などに興味津々。温泉は椿湯、本館、奥道後。ジェインが茹でロブスター（我々の言う茹で蛸）になったところをパチリ。松山散策時には、家の軒すれすれにカーブする城北廻りの電車に乗ってビックリ。今治の海山展望台では高速滑り台から来島大橋を眺めながら子供になって遊ぶ。また学の野菜畑を見ては種類や作り方を研究。

帰る朝、留め袖から浴衣まで色々着替えて、庭や床の間で写真撮影。身近な異文化をいっぱい体験してもらった。

「日本大好き、温泉大好きな英国女性」

鈴木英紀・節子



「小麦アレルギー」があるという Heather さん。パンを主食にしていると思われる英国で、どんなものを食べているのだろうと、来る前から気になっていたが、オートミール、ジャガイモ、とうもろこしなどを主食として、別に不自由はないという。彼女は、滞在中、道後温泉や奥道後のジャングル風呂をととても喜んでくれた。また、我が家では、ずっと箸を使用し、小麦の入っていない食物なら何でもおいしそうに食べてくれる。お習字の練習もして、日本の文化をしっかりと体験しておきたい様子であった。トイレではタンクの水再利用がすばらしいと言い、外の布団干しもお気に入り。見るもの触るもの何でも好きになってくれる素敵な英国女性との1週間があっという間に過ぎていった。

「外交官は質問マニア」 石丸和子

セシールとデイヴィドという共に元外交官のご夫妻は好奇心の塊。殊に日本の文化・習慣を体験することに無常の喜びを感じ、ポトラックパーティーの剣舞に始まり、茶道、温泉、砥部焼、能、内子の商家など聞くもの見るものすべてに興味は尽きず、「I have a question.」を連発していました。一方で、こちらの質



問や彼らの国カナダの抱える問題点などもゆっくりと丁寧に説明する説明マニアでもありました。FF ではゲストをアンバサダーと呼ぶそうですが、真の意味でのアンバサダーに出会った、非常に有意義な1週間を送らせていただきました。

「エピソード」 大谷 恵

ケベック州からやって来たフレンチ・カナディアンペニー。いつもハイパー元気な彼女はお花が大好き！ ある日、うちの隣のおばあちゃんと意気投合！抱えるくらいの紫陽花とピワの苗木をもらってきました。カナダにはピワがないらしい。でもこれは持って帰れないよね？するとペニーは小声で「彼女には言わないで。がっかりさせたくないの。それとお礼にこれを渡しておいて。」メープルの形のきれいな石けんでした。私はそれを渡し、「食べたらだめよ！石けんだからね！」ペニー、ちゃんと伝えたからね！（笑）



「カナダからのお客様」 峯 英司、洋子

我家のイギリスのゲストは次々とキャンセル。諦めていたところ受入れの1週間ほど前にアニーに決定。大変爽やかな、心配りの行き届いた、元校長という硬い肩書きは全く感じられない素敵な女性でした。松山に来る4日前、飛騨高山を旅行中にスーツケースが当たって、左足を負傷。到着時の忙しさで気が付いたのが翌日の夜。1週間近く放置されていた彼女の足は見るからに痛そうでした。私のありったけの知恵でとりあえず治療。翌朝近所の外科にお連れしました。私の治療と全く変わらなかったの、それ以後は私は通称「ドクター洋子」。でも幸運にも2週目の三重での彼女のホストは正真正銘のドクターでした。



デイホスト 有光佳代・井出博美・今井路子
久保玲子・嶋倉光子・田中ほとり・中村緒由美
平野寿美子・松木紀子・三好郁子・松本千枝・
三谷睦・山岡佳巳

2006年の渡航先イギリスのオックスフォードシャークラブからの8名と、4名のカナダ人が合流し、12名のアンバサダーをお迎えしました。愛媛クラブの皆様のいろいろなご協力で、楽しく受入れが終ったと感じています。本当に有難うございました。 ED 田中喜美子

スポケーン(WA)でのホームステイと憧れのカナディアンロッキー

EDとして 峯 洋子

2ヶ所にホームステイする予定が、アンバサダー不足でカナダのクラブからクレームが出た為に、結局、交換はワシントン州のスポケーンクラブのみとなりました。その後の6日間を、以前受け入れた家族を訪問した田中夫妻を除いた9人が、カナディアンロッキーの旅を楽しみました。

スポケーンはシアトルからプロペラ機で1時間あまり。兵庫県西宮市の姉妹都市ということもあり、日本との結びつきがあちこち感じられる地方都市でした。冬は雪も多い土地なのに生活しやすいのか、退職者用のコミュニティーの何と多かったことが。私達のホストも昨年暮に、そのひとつに移ってきたばかり。羨ましいような生活でした。日本での再会を約束して、1週間後、又ちっちゃなプロペラ機に。

カナダのバンフでは私達がいる間中、最高のお天気。氷河を抱く険しい山々、それを水面に映すエメラルドの湖、息を呑むような美しい風景でした。湖の周りに自生している敦盛草など高山植物を楽しみ、次々と現れる人間を恐れない野生動物に驚き、自然を大切に保護しているカナダの国の偉大さに触れた6日間でした。7月1日無事帰国。

カウボーイ、カウガール姿でウェスタン・ショウ

佐藤 学・洋子

ステイ4日目の夕方、アイダホとの州境に近いRock B Ranchへウェスタン・ショウを見に行く。ホストのバーバラは「はーい。支度して」と、強引に学にはカウボーイハットにシェリフのバッジを付けた緑のシャツ、カウボーイベルトも出してきた。小柄な彼女は洋子には自分のデニムの服、スカート、帽子を用意。おまけに超可愛い靴まで履かされる。少々大きいのでティッシュを詰める。「Good. 鏡を見て！」と彼女はニッコリ。

なんだか気恥ずかしい。ま、



いいかとネッカチーフを首に会場へ。大いに受けた(?)。というのも、ゲストはみんなウェスタンスタイルと思っていたのに我々だけだったから。屋外での寸劇、屋内でのディナー、ショウとカントリーミュージック。ショウはよく理解出来ない乍らも、会場は盛り上がり、アメリカでの楽しい一夜を満喫できた。

お株を奪われたホストのおもてなしの心

中西 皓

スポケーン郊外の広大で閑静な松林の住宅地に住むBelzmanご夫妻。穏やかで気配りの行き届いたSteveとJaquelineさんは、事故と病気でともに連添いを亡くした者同士の再婚者で、お互いにHoney!と呼び合う。食事中、ドライブ中など時間があればお互いの家族、仕事、趣味、食べ物など話は尽きなかった。全体行事とは別に市内、郊外、ゴルフまで、実に小まめに連れていってくれ、友人にも紹介された。Canadian Rockiesは好天に恵まれ最高だった。

初めてのアメリカとカナダ訪問 中西フサエ

松山空港発9:35、約20時間後、スポケーン空港着は同日13:20。Eメール写真のステイヴとジャッキー夫妻、それにデイホストのインガボイルズさんと早速感激のハグでしっかりご挨拶。太平洋戦争時小学生だった私にとって、どでかいアメリカに来て、暖かく歓迎されてうれしかった。

スーパーで買い求めた中粒米、燻製鮭、椎茸を使った炊き込みご飯等の日本料理、生け花、風呂敷の包み方などをホストは喜んでくれた。

スポケーンとバンフ 川端 満子

6月にFFのexchangeに参加できる身分になったことを実感しながらの旅だった。スポケーンでは湖の畔に建つ Sharon さんの家で、毎朝夕テラスで食事をし、刻々と変わる美しい湖を見ながらワイン片手に大いに語り合った。互いにそれぞれの人生を生きてきたからこそ深く共感できるものがあった。バンフでは雄大な自然 青い空、白い雪、木々の緑、湖の微妙な色合いを満喫！同行の皆様ともまた一段と親しくなれたことに感謝！です。



カナディアンロッキー 田中 肇、ひとり

いつもはどんな観光旅行より、FFのホームステイのほうが印象に残るのだが、後半のカナディアンロッキーの旅行は本当にすばらしかった。と同時に魂に力を与えられた。晴天に恵まれ、空の青、雪の白、岩山のグレー、裾野に広がる針葉樹林帯の緑、そして数々のエメラルドグリーンの湖。一万年前の氷河の上に実際立ち、また何億年昔の化石の岩を手にとり、数々の断層を目の当たりにして、地球は流動していることを体で実感する旅だった。



(田中ひとり)

このところ毎年FFのホームステイに参加させてもらっている。ただ今回は家庭の事情から直前まで渡航する気分にはなれなかった。しかし行ってみて、ホームステイはもちろん、カナダの旅行で気分は一転。広大な自然を心の底から堪能した。密かにまた行くつもりになっている。一度や二度出かけたくらいで満足できるものではないと実感した。あの青い空や、白い雪、黒々とした岩肌と緑の森と湖は地球が長い時間をかけて地上に住む生き物に与えてくれたもの。壊すこ

との無いように守りたいものだ。(田中 肇)

初めてのホームステイ 岡田 弘子

この度の北米訪問は佐々木さんの紹介でした。初めてのホームステイで英語の出来ない私には不安がありましたが、肇さんに助けて頂き、ホームステイ先のアンさんにも優しい笑顔で迎えていただきました。言葉が通じなくても表情や手まねで心が通じるものだと嬉しく、楽しいホームステイを過ごすことが出来ました。



又一度は行きたいと思っていたカナダでは雄大なロッキー山脈や蒼く輝くレイクルーズの美しい自然の景観に心をうたれました。最後の日、中西ご夫妻に誘われて教会に行き、旅行の無事を祈り礼拝しました。皆さんのお蔭で素晴らしい良い思い出の旅行が出来ました事を厚くお礼申し上げます。

アメリカって豊かなの？ 田中 喜美子

ホスト夫妻はモルモン教徒でした。酒類、紅茶、コーヒーなどは口にせず、でも毎日コーラはがぶ飲み。ホストのクラウスは66歳。朝4時からスーパーの荷物を店に運び込む仕事をしていた。保険会社の退職者だけど彼らは保険に入っていない。そんな経済的余裕はないと言う。「俺の母親は90歳台だけど、医者なんか行かなくても長生きだ」と彼は言った。



後半のアメリカンロッキーにて

重い人生を背負った二人 田中 明治

Klaus は、10才の頃東独を母親と兄と3人で脱出しアメリカに渡った。父親は西独に残る。Barbaraも父親がアル中で死ぬという不幸な家庭で育つ。モルモン教会に入ったのもそういう事情からでしょうか。Barbaraの「人間の気持はみな同じ。喜び、悲しみ、怒り・・・人間はみなそれぞれ special な存在」という言葉が印象に残っています。ハチドリやシカが遊ぶ林の中の家での1週間は素敵でした。

フレンドシップフォースデーの集い

ようこそ FF 愛媛クラブへ！ -

大谷 恵



ある日友達から、数名の方が FF クラブに興味があるらしいとのメールをもらいました。タイミング良く 3 月 1 日にフレンドシップフォースデーがあり、一緒に参加することになりました。

「愛媛クラブの高齢化を止める為に若い人達の入会を！」どなたかの楽しいジョークで会は始まり、活動内容、意見交換、世界の歌当てクイズなど…。佐藤学さんの司会で進んでいきました。

数日後、新しいメンバーさん達の入会が決まったと聞きました。私にとって小さい子供を持つ同世代のメンバーが増えることは、本当に嬉しいことです。

でも、年齢はただのナンバー！幅広い年齢層の人達に出会えるからこそ、FF クラブは楽しいのだとも感じています。もし入会していなかったら、私の世界は、子供を通じてだけの狭くて窮屈なものだったでしょう。FF ではゲストも含めて年上の方達から学ぶことは本当に大きくて、年を重ねること=賢くなること、私も少しずつだけ賢くなっていける気がするのです。

学生の頃の私は人見知りで、自分から人に声もかけられませんでした。それがある日、バイトを掛け持ち資金を貯めて、自分の力だけでカナダにホームステイに行き、気がついたのです！自分がそれまでどんなにもったいないことをしてきたか、もっと沢山の友達と出会い、知り合いたかった！それが FF の神様からのお告げ、私の FF の原点だったように思います。

今回入会してくださった中村和子さん、セブガン理恵さん、宮崎美鈴さん、有難うございました。ようこそ FF 愛媛クラブへ！

FF親睦ハイキングに参加して

とべ動物園前から旧遍路宿坂本屋までの里山コース

中西 皓

バス停の歩道を覆う満開の染井吉野並木に 4 月 5 日、参加者 6 名が集い、ハイキングがスタートした。この日の周到な計画、準備をして下さった佐藤学・洋子夫妻、松田和正・正代夫妻、それに鈴木節子さんと私の事務局・書記カップル。3 月 30 日が悪天候で延期され、参加者半減は残念だった。

陽春、花曇り、爽やかな微風に恵まれ、松山市恵原町へ。田園地帯の大きく育った玉葱や農家の草花を愛でつつ、八つ塚群集古墳、荏原城址、文殊院を散策・見学、この地の歴史を想った。続いて四国霊場 47 番札所八坂寺と 46 番浄瑠璃寺へ。近くの農家の婦人から収穫中のミニトマトを特別に販売してもらったと喜んだ人もいた。

12 時頃、学さんの発見・誘導で脇道を少し入った所に、一面レモンイエローの真っ盛りの菜の花畑があり、全員歓声を上げて、シートに足を伸ばし、ランチタイム。お菓子、果物、飲物を交換し合いながら堪能、歓談した。

さあ後半もひと踏ん張り、最終目的地の旧遍路宿坂本屋に向かう。上り坂が段々きつくなるが全員

元気いっぱい、土筆を採り、農作業中のお婆ちゃん達と声を交わす。途中、学さんはバスで砥部へ引き返し愛車で坂本屋へ先回り。また、道すがら奥久谷の遍路道横に正岡子規の句碑を発見、ひと談義。

旅人のうたのぼりゆく 若葉かな



坂本屋では当主船田トシ子さんや接待役の方からお菓子、果物、熱いお茶などのおもてなしを戴いた。「犬伏武彦先生の修復のお陰で、接待所としての今の

坂本屋があります」と感謝の言葉を述べられた。

帰途は佐藤車で網掛け石、一遍上人が 3 年間修行したとされる窪寺跡等を見学、4 時前に砥部へ帰着、解散。心地よい疲れ、私の当日の歩数は 22,438 歩だった。次回は皆さん是非ご参加を！

事務局便り



新FFロゴです。
よろしく。

《 FF 愛媛・2008 年行事カレンダー 》

前半活動記録(1月~7月)		
2月3日	春季総会	
3月1日	FFデイ・ワールドフレンドシップデイ	
4月5日	ハイキング(荏原・坂本方面)	
5月20-27日	受入れ(オックスフォードシャーククラブ)	
6月18-7月1日	渡航(イーストWA・ノーザンID)	
7月24日	西日本ブロック会議(担当クラブ:熊本)	会報38号発行(8/3付け)
後半活動計画(8月~12月)		
8月3日(日)	夏季総会	県立美術館研修室
9月5日(金) 13:00-15:30	料理の会 COMS調理室	指導:矢野和子「トライフルケーキ」 藤田千文「キャロットケーキ」 材料費 約300円
10月15-22日	受入れ	ニューキャッスル(豪) (ED 鈴木)
11月22,23日	一泊研修	諏訪崎・保内町・三崎方面 (担当 佐藤学)
12月7日(日)	忘年会	(担当 松葉)
12月	ハイキング	(担当 佐藤学)

料理の会、一泊研修、ハイキング、忘年会にぜひご参加ください!

ニューキャッスル受入れ

デイトホスト、パーティー参加、ホームパーティー主催などのご協力をお願いします!

《 2009 年予定-----交換・他 》

- A.受入れ-----ブダペスト/セーケシュフェヘルヴァール(ハンガリー)の合同受入れ
- B.渡航-----アンカラクラブ(トルコ)へ (鳥取クラブと合同渡航)
*** ホストファミリー、渡航希望者募集 ***
- C.アジア・パシフィックフェスティバル---6月4日~8日 於: Oregon's Mid-Willamette Valley(米)
- D.世界大会-----11月19日~22日 於: 沖縄

《 西日本ブロック会議報告 -----7月24日 熊本クラブ担当 》

西日本ブロック会議会場となった施設は、阿蘇山麓中腹にあって、外輪山の遠望が壮大であった。会議には、長崎、福岡、大分、山口、広島、鳥取、愛媛、熊本の西日本8クラブが一堂に集い、熱心な討議を重ねた。受入れ・渡航に関する諸問題やクラブ内活動の様子については、発言も多く、各クラブの抱えている問題や状況の情報交換もでき、自クラブ活動の参考になるものも多々あった。また今回のブロック会議には、FFI から日本担当の Maryam Jordan が参加していたので、FFI への質問や要請なども多く出された。彼女から即回答のものもあったし、検討課題になるものもあったが、FFI の声が直接聞けたことは有意義であった。FFI 新ロゴや2009年沖縄世界大会に関しては質問も多く、各クラブのそれらへの関心の深さを知ることができた。

見事な夕日を眺めながらのバーベキュー夕食では、大いに親睦をはかり、会議で出し切れなかった豊富な話題で盛り上がり、会議に加えての情報交換ができて、全体的に内容の濃いブロック会議であったと思う。次回は長崎クラブ担当と決まる。
(参加・報告: 峯、鈴木、中村)

新 入 会 員 紹 介 (敬称略) *** 皆さん、仲良くして下さいね。***

中村和子 セブガン理恵 渡邊ゆうこ
栗林友美子 今井路子 宮崎美鈴

会員紹介

松山市

大塚潤子



私の初デビューは、フロリダ受入れのウェルカムパーティーでした。私のつたない語学力でも交流を楽しむことができ、感動の一日でした。

以前、家族で3年間インドに滞在したことがありました。その時は余り興味がなかったのに、今になって、なつかしのヒンディー語を勉強し始めました。また近場のアジア中心に、家族旅行をすることも楽しみのひとつとなっています。

これから少しずつ英語も勉強しながら、いろいろなことを経験していきたいと思っています。どうかよろしくをお願いします。

2007年入会

松山市

石丸 明、和子

歯科医を辞め今韓国語を教えている夫の趣味は車、サイクリング、時計や壺の収集等々。妻はと言えば、ボランティア活動その他種々な団体に所属し外に出ることが多い。趣味は茶道、映画や芝居の鑑賞、旅行と同じ猪年ながら違う方向に猪突猛進。果たして二人の接点は？

韓国留学を経て国際交流に目覚めた夫と、元々国際交流に関与していた妻は、昨秋二人のアメリカ女性の受入れを体験しました。FF入会を決心したのは当然の成り行き(?)でしょうか。FFを通して更なる異文化体験を楽しみたいと思っています。



2007年入会

東京都

松本千枝



「大人のホームステイプログラム」って何だろう？単純な好奇心と英語への関心から、2007年8月、お仲間に入れていただきました。デイホストとしてお手伝いしています。先日、オックスフォードシャーからのゲストに同行し、広島の日ツアーに参加してきました。安芸の宮島では、神道と仏教の違いを尋ねられて右往左往し、漢字だらけのおみくじは極めてテキトーな説明で切り上げるなど、案内役としてはまだまだです。それでも、好きな英語を通じて、皆様とご一緒できる機会が与えられて、恵まれています。

2007年入会

編集後記

例年より早く梅雨が明け、猛暑が長く続くのではないかと心配されます。夏バテしないように体調管理に努めたいですね。会員が増えず、会員紹介の欄も今回が最終回かと思われたこの頃、多くの若い方々が入会してくださいました。会報も益々充実していかないといいなと思いますので、皆様のご意見をお寄せください。またFF愛媛の会報の編集にご協力いただける方を募集しています。

編集発行 2008年8月3日
編集者 久保、岡田(偉)、田中(喜)、峯

フレンドシップ・フォース愛媛 No. 38
〒791-0243 愛媛県松山市平井町 3157-185
T & F 089-975-8316